



 素敵な作品をご紹介します。



私は、よくショートショートの小話を子ども達に読むことが好きで授業前や帰りの会で聞いてもらっておりました。思い起こすこと25年前、国語の研究をしていた時に、「ちいちゃんのかげおくり」や「白いぼうし」「だあれもいない」などの作品で知られている児童作家の「あまんきみこ」さん(現在もご活躍中)のコラムを「国語科研究」という教育雑誌で読んだ時のことがきっかけで始めたのを覚えています。コラムには、読み聴かせをするときはルールがあって「絵本を動かさない」「抑揚をつけてもかまわない」「感想をきかない」の3つの原則が大切と記されておりました。

何を私が言いたいのかと申しますと、小さな絵本作家の卵が誕生したことをご紹介したいのでございます。そして、あえてその作品の感想は申しあげません。

みなさまが、小さな絵本作家の卵さんの素敵な感性に触れていただけたらと思い掲載させていただきました。

ps



次頁にご紹介させていただく作品との出会いは、先日、福岡県わたしたちの作文コンクールの筑豊地区審査会が市内の小学校で開かれ、出張された先生を介して、栗原美紀教頭先生が「校長先生。この作文を読んでみてください。」とおっしゃいましたので早速読ませていただいたことがきっかけです。

原作者の1年 ますやま しおりさん本当にありがとうございました。

まほうのいえ  
 一ねんますやましおり  
 わたしのゆめのいえのはなし  
 をします。  
 おおきなプールがある。て、み  
 ずで、ぼうしとグルグルすべりだ  
 いであそべます。ラッコうまの  
 れんしゅうをします。

としよかんにはすかんやなそ  
 なそのほんがたくさんあります。  
 おばあさんがおとまりするへ  
 やには、ふかふかなベッドがあ  
 ります。おばあさんのいえのイ  
 ンコのへやがあります。ひまわ  
 りとレタスもうえます。インコ  
 はうれしくて、はねをばたばた

※文字は正しくうつしく

○「はな」は「はな」の「は」を「は」に  
 ○「はな」は「はな」の「は」を「は」に  
 ○「はな」は「はな」の「は」を「は」に

さむます。  
 レストランにはなんでもつく  
 れるホットケーキとカレーとパ  
 ンはステーキとカレーとパ  
 ですよ。  
 おじいさんには、一ばんうえ  
 であえます。おじいさんほてん  
 ざくにいます。たがいとろで  
 はなせます。が、こうやじどう  
 けいぶのこととたたくさんはなし  
 たいです。  
 こんないえてくらせたらうれ  
 しいです。

※文字は正しくうつしく

原文のまま掲載させていただきました。飯塚東小学校は、しおりさんをはじめ、感性の豊かなお子さんばかりで私も職員は日々笑顔で元気をもらっています。いつかまた、素敵なお子さんの作品を紹介させていただきます。( )